



# 入谷小校長室だより 顔晴れ！入谷っ子！

2018年7月2日

No. 4

TEL 46-2655

FAX 46-2654

学校教育目標：命とふるさとを大切にすることの育成

目指す児童像：《一はきはき一 てきはき一 にこにこ一》

☆いつもまなぼうとする子 ☆りりしくたくましい子 ☆やさしくたすけあう子

心も体も元気な子どもを育成するために 家族みんなではやね・はやおき・あさごはんを実践しよう!!

文責：校長 高橋 有

## 1学期末を迎えて思うこと～強い「入谷っ子」の育成を目指して～

不耕起栽培という言葉をご存知でしょうか。農業に関する言葉です。耕し起こさない農業という意味です。米を育てる田んぼでは、普通田植えの前に土を掘り起こします。土を柔らかくして、苗を植える手順です。しかし、土を掘り起こして柔らかくするという作業はせず、秋に稲刈りをしたまま、切り株が残っている田んぼで、株と株の間に溝をきりこみ、固い土に無理やり苗を植えてしまう、というのが不耕起栽培だそうです。

固い土に植えつけた苗は、当然のことですが、従来農法の苗に比べて育ちが悪くなります。

ところが、ある時点で成長が逆転してしまうのです。

理由はこうです。固い土にストレスを感じた稲は、エチレンを放出します。エチレンは根を太くします。太くなった根は既に固い土を突き抜け、根の張り方も大きくなります。従来農法より大きくなった根は、

栄養を吸収する能力が高くなります。茎を増やして株が大きくなります。いわば野生化するわけです。この結果、病気にも、大水や強風にも強い稲となり、収穫量も増えるというから驚きます。不耕起栽培は、農業技術者の岩澤信夫さんという方が提唱し、全国に広がりつつある農法です。



ところで、現代の小・中学生は、大水や強風に強い稲でしょうか。根の張りが強い丈夫な稲でしょうか。それとも、大水や強風ですぐ倒れてしまう稲でしょうか。柔らかい土に育つ、根の張り方の小さい稲でしょうか。「米」という漢字の由来は「八十八の手間をかけるから米と書く」という説もあります。しかし、手をかけすぎてひ弱な稲にしていないでしょうか。早い時期に栄養を与えすぎると、稲は根っこを張らずに済んでしまいます。小・中学生のいまこそ、根を太くしていきたいものです。

入谷小学校の子どもたちにも、辛いこと、苦手なことにもあえて挑戦することで根っこを強くすることができます。それが本校で目指す「自己ベスト」ー今の自分を超越る、よりよい自分を目指すーに結び付きます。子どもたちに苦痛を与えるのではなく「認めて、褒めて、励ます」ということを大切にしながら、強い「入谷っ子」の根を育成していきたいと思えます。



【豆知識：エチレンとは・・・】

・植物が自分自身でつくって出している植物ホルモンの一種。

c f) ・種子の発芽を促進する。・1本の茎、根を太くする。(養分を分散させない)

お知らせ



7月6日(金)は、1学期末の授業参観ですが、前日から八戸市に出張のため、不在です。この校長室だよりを私からの挨拶に代えさせていただきます。多数のご来校、お待ちしております。

《6月の職員会議で教職員に提示したことば!》



6月 

のことば・・・

詩『命』

《<sup>みやこし</sup>宮越 <sup>ゆきな</sup>由貴奈 さん》

命はとても大切だ 人間が生きていくための電池みたいだ  
でも電池はいつか切れる 命もいつかはなくなる  
電池はすぐにとりかえられるけど  
命はそう簡単にはとりかえられない  
何年も何年も 月日がたってやっと 神様からあたえられるものだ  
命がないと人間は生きられない  
でも 「命なんかいらない。」 と言って  
命をむだにする人もいる まだたくさん命がつかえるのに  
そんな人を見ると悲しくなる 命は休むことなく働いているのに  
だから 私は命が疲れたと言うまで せいいっぱい生きよう

平成10年6月28日、5年半に及ぶ病気とのたたかひの末、11歳で亡くなった宮越由貴奈さんが、小学4年生の時に院内学級の授業で感じたことを書いた詩です。

「命」という詩では、「私は命が疲れたと言うまでせいいっぱい生きよう」という死の不安に負けない強い決意が述べられています。

院内学級では、自分が重い病気であるにも関わらず、赤ちゃんや友達のためを思って行動していたそうです。由貴奈さん自身もいつまで生きられるか分からない状況の中、自分のことよりも周りの人のために行動する姿から「せいいっぱい生きよう」という言葉に込められた思いを子供たちに考えさせていきたいと思います。

【7月の朝会講話より 〈7月2日(月)〉】

『大切なものは目に見えない』 (一部抜粋)

皆さんにクイズを2つ出します。

まず、1問目。「目には見えないけれど、大切なものは何でしょう？」

(空気、命、やさしさ、心・・・) いろいろ答えはあり、どれも正解です。

今日、皆さんに考えてほしいことは「言葉」についてです。声になって出てくる言葉は、目に見えません。でも言葉は、人を励ましたり、助けたり、温かくしたりします。反対に、時には人に嫌な思いをさせたり、傷つけたり、ひどいときには命を奪うこともあります。自分が何気なく使う言葉が相手にとってどういう意味をもつのか、考えてほしいと思います。

では、2問目。「人から言われてうれしい言葉は何でしょう？」

(がんばったね、すごいね、すばらしい・・・) これもいろいろありますね。

あるアンケート調査の結果、人から言われてうれしい言葉の第1位は、

「ありがとう」だそうです。

皆さんの毎日の生活の中で、温かい言葉、相手を思いやる言葉があふれるような入谷小学校であってほしいと思います。

今日は、校長先生の話をしっかり聞いてくれて「ありがとう」。



